



国内リテール事業 ※1		2022年						2023年						通期
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
既存店	売上高	102.3%												102.3%
	客数	98.7%												98.7%
	客単価	103.6%												103.6%
	対象店舗数	571店												571店
	土日休日数増減	0日												0日
全店	売上高	104.2%												104.2%
	対象店舗数	604店												604店
	前年同月店舗数	586店												586店

※1 (株)ドン・キホーテ、(株)長崎屋、UDリテール(株)、(株)橘百貨店、ユニー(株)

1. 国内リテールは、前月同様、ディスカウント事業が、GMS事業のマイナスをカバーして前年を上回っています。
 当月は、節電需要から始まり、上旬は、涼感商品や日除け、夏休みのレジャー需要の高まり、そして、下旬は、コロナの感染拡大に伴う防疫需要、食品・生鮮需要の高まりなど商況が目まぐるしく変化していく中で、うまく変化対応し既存店の押し上げに繋がっています。

2. ディスカウント事業は、立地、業態、エリアに関わらず、前年を上回っています。
 特に、21時以降の夜間帯売上は、コロナの行動制限が解除されて以降は、月の経過に伴って売上と客数の規模が拡大しています。
 また、カテゴリ別では、非食品、食品ともに前年を上回っています。当月は、洗剤やインバスなどの定番の日用消耗品に加えて、化粧品、スキンケア、喫煙具、カラコン、グミなどSNS映えるトレンド商品など幅広く売上が拡大しています。更に、マスクなどの衛生用品の需要も拡大しています。

3. GMS事業は、コロナの規制がなくなった事で、外食需要の剥落や巣ごもり需要の縮小を受けて、食品・生鮮食品の売上が鈍化していましたが、最後の10日間は、土用の丑の日や3連休が押し上げに寄与した事で、前年を上回る水準で推移しています。
 一方、非食品は、衣料品は、UV関連や水着の好調はあったものの、子供衣料や実用インナーなどが前年に及ばず前年割れしています。

<8月度 新規出店予定>
 (1)UDリテール：①8月10日「ドン・キホーテ アビタ新潟亀田店(新潟県新潟市)」



※2 ディスカウント事業		2022年						2023年						通期
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
既存店	売上高	103.6%												103.6%
	客数	99.5%												99.5%
	客単価	104.1%												104.1%
	家電製品	95.4%												95.4%
	日用雑貨品	107.8%												107.8%
	食品	102.6%												102.6%
	時計・ファッション用品	105.3%												105.3%
	スポーツ・レジャー用品	102.1%												102.1%
対象店舗数	437店													437店
全店	売上高	106.6%												106.6%
	対象店舗数	468店												468店
	前年同月店舗数	447店												447店

※2 (株)ドン・キホーテ、(株)長崎屋、UDリテール(株)、(株)橘百貨店

※3 GMS事業		2022年						2023年						通期
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
既存店	売上高	99.0%												99.0%
	客数	96.8%												96.8%
	客単価	102.3%												102.3%
	衣料品	94.4%												94.4%
	住居関連品	98.4%												98.4%
	食品	100.1%												100.1%
対象店舗数	134店													134店
全店	売上高	98.3%												98.3%
	対象店舗数	136店												136店
	前年同月店舗数	139店												139店

※3 ユニー(株)